

OLYMPUS®

# OM-4 Ti

---

# BLACK

---

*Single Spot Metering, Multi Spot Metering, Highlight Control, Shadow Control, Exposure Memory, TTL Direct Method of real time average light measuring, 1/2000 sec. Full-Synchro Flash (Super FP Mode · TTL Auto Mode) LCD Finder Display, Exposure Compensation Dial, Dioptric Adjustment Knob with Lock, Electronic Self-Timer, Diecast Titanium Construction (Black Finish), Solid Nickel-Chrome Mount, Clear Lever, Auto/Manual Lever*

マルチスポット&フルシンクロシステム OM-4チタン ブラック誕生。

'89年4月現在



## ヒトの意志は、光とひとつになる。OM-4チタンブラック、誕生。

すべてのカタチは、光を得てはじめて映像になる。光は完全に制御されてこそ、  
撮影者の意志となり、より高度な表現に到達する。光の完全制御。それが、OM-4チタンブラックのコンセプトです。  
ただテクノロジーに寄りかかるのではなく、偶然に頼るのではなく。あふれる光を撮影者の意志で選び、  
微妙なニュアンスを個人の表現として確実に定着する。メカニズムと一体となって、光を自由に操る快感、意のままにする喜び。  
ここに、一眼レフ本来の姿があります。世界がまだ追いつけない1/2000秒までの全速ストロボ同調、そして光を分析し、  
構築するマルチスポット測光。OM-4、OM-4チタンの血統を受けつぐ類いまれな才能を超高精度ボディにつつんで、  
新しいオリンパスシステムの核、OM-4チタンブラック誕生。意志は光と同調し、表現となる。

# SINGLE SPOT METERING

(1点スポット)



ZUIKO 85mm F1



光はときとして、著しい明暗差を生み、撮影者の意志を拒んできました。とくに逆光の場合など被写体と背景の明るさに差があるとき、これまでの一般的なAE露光では狙った映像の表現は困難だったと言っても過言ではありません。撮影者が求めた光を測り、再現する。そのために生まれた機能がシングルスポット測光です。この写真の場合、主題である女性の顔に合わせてスポット入力。後ろからの太陽光の影響を受けて黒くつぶれていた表情を補正しています。なお、スポットボタンを押すと同時に、測光値はAEロックされるためフレーミングは自由です。

# MULTI SPOT METERING

(マルチスポット)



ZUIKO 35mm F2



マルチスポット測光は、輝度域が複雑に異なる被写体を、撮影者の意志のままにコントロールするための機能です。写真のような明暗差の著しい状況では、従来の平均測光ではまったく対応できませんでした。露出制御が強い光の影響を受けてしまうからです。ここでは、露出オーバーになりがちな女性の顔、光の強い壁に1点ずつ、そして手前の男性の影に3点目をスポット入力。光の微妙な階調を写し込むことに成功しています。露出値は、スポット測光された3点の加重平均から算出されるので、これまでのように経験やカンに頼った露出補正の操作は、一切不要です。

# HIGHLIGHT CONTROL / SHADOW CONTROL 白を白く、黒を黒く。光はリアリティを取りもどす。

(ハイライトコントロール/シャドウコントロール)



一般のAE撮影では、このように画面全体が白っぽいものを撮ると白をグレイッシュに写し込んでしまいます。白いものを目に映るまま白く再現する機能がハイライトコントロールです。画面の中で最も白い壁面でスポット入力。そのあとハイライトボタンを使用。従来の平均測光ではにこっていた白が、鮮やかな白として再現されました。トウシューズの光沢のあるマテリアル、壁面のテクスチャーも正確に描写されています。



ZUIKO 90mm F2



黒いものをそのまま黒くするための方法です。平均測光で画面全体が黒っぽいものを撮った場合、黒が中間色のグレイとして定着されてしまいます。露出基準が被写体の、色ではなく、反射率(=約18%で灰色)で設定されてしまうからです。画面でいちばん暗いタキシードの影の部分に合わせてスポット入力。そのあとシャドウボタンを押したのが上の写真です。スーツや皮の素材感リアルに再現。深みのある映像表現となりました。



ZUIKO 90mm F2

# MEMORY 捉えた光をインプットする。離さない。

(メモリー撮影)



ZUIKO 85mm F2



同じ被写体を撮影しても、背景によって露出値は大きく変わります。たとえば、このケース。彼女の背景は刻々と変化します。従来の平均測光では、黒バックのとき彼女はオーバー気味に、白バックのときはアンダー気味に描写されてしまいます。一度得た適性露出を記憶させ、同じデータで連続撮影できるのがメモリー機能です。メモリーレバーを操作し、彼女をスポット測光。背景に左右されずに彼女を適正露出で捉えました。

メモリー状態では一度記憶した露出レベルをそのままに、絞りやシャッタースピードを自由に選べます。右は、メモリー入力後、絞りを操作し、被写界深度を変えた例。印象の異なる2つの作品が生まれました。狙った主題の露出レベルを一定に、さまざまな映像表現を可能にする。それがメモリー機能です。



ZUIKO 85mm F2, F16



ZUIKO 85mm F2, F2

# FULL-SYNCHRO FLASH SYSTEM 自由な光を手にする。表現は限りなくフリーとなる。

(フルシンクロフラッシュシステム)

## Full Synchro



ZUIKO 50mm F1.2



フルシンクロフラッシュシステムは、世界で初めて全連ストロボ同調を実現しました。これまでシンクロ速度の制約から表現を限定されていたストロボ撮影は、新たな領域を獲得したのです。どうしても左のように絞り込まなければならなかった日中シンクロ撮影でも、上のように絞りを開放に設定し、背景をボカすことも自由です。

2000 1000 500 250 125 60 30 15 8 4 2 1

## Full Synchro 1/2000



ZUIKO 50mm F1.2



これまでのストロボ(閃光発光)では、一般で1/60秒、速くて1/250秒までの同調が限界でした。左の画面は、従来の閃光発光ストロボで撮った例。上は絞りを開けてオート撮影した例。スーパーFP発光モードにより、シャッターは1/2000秒相当で切られました。空中のスパナの瞬間を写し込む。日中シンクロの新しい映像です。

2000 1000 500 250 125 60 30 15 8 4 2 1



## Super FP Slow Synchro



ZUIKO 35mm F2



一般的なストロボ撮影の場合、従来の閃光発光ストロボでは、左のようにストロボが光る何万から何千分の1秒の一瞬だけが定着されてしまいます。上の例のような被写体のブレによる動感の表現は不可能でした。1/25秒の間発光が持続するスーパーFP発光は、その間の被写体の動きも追従。低速ストロボの新しい世界です。

2000 1800 1600 1400 125 115 100 90 80 70 60 50 40 30 20 15 10 8 4 2 1

フルシンクロフラッシュシステムは、逆光シーンにおける日中シンクロでも大きな威力を発揮します。閃光発光ストロボではストロボの発光時間やシンクロ速度の制約からどうしても映像表現は限定されていました。右の写真の3点は、逆光をストロボなしで撮った例①と、露出を人物に合わせて単純補正した例②と、フルシンクロフラッシュを用いて撮影した例③です。単純補正ではバックが白く飛び、画面はオーバーです。フラッシュを使用した下段の写真は、プロが用いるレフ板ライティングに近い自然な光を獲得しました。



2000 1800 1600 1400 125 115 100 90 80 70 60 50 40 30 20 15 10 8 4 2 1

ZUIKO 50mm F1.2①



2000 1800 1600 1400 125 115 100 90 80 70 60 50 40 30 20 15 10 8 4 2 1

②

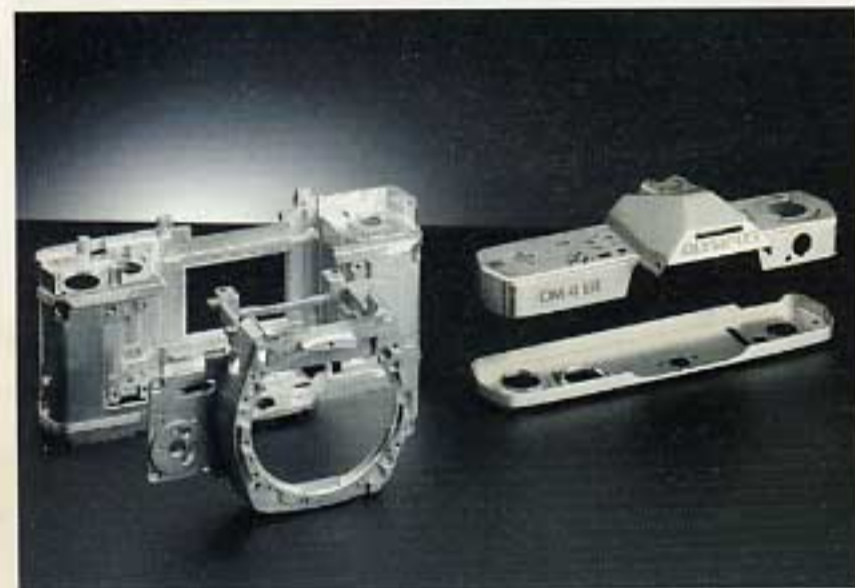


2000 1800 1600 1400 125 115 100 90 80 70 60 50 40 30 20 15 10 8 4 2 1

③

## その光感神経は、チタンにディフェンスされている。

原子番号22。超軽量ながらアルミの6倍の強度を持ち、耐蝕性・耐熱性にも優れる。OM-4チタンブラックは、そんな超金属・チタニウムをボディ上部と下部に採用。その高いポテンシャルは、ボディ本体に採用された含銅シリミン系アルミ合金とあいまって比類ない信頼性を発揮します。あらゆる条件下で酷使されるプロユースの道具として、そして、OMシステムを支える核として、ボディは強靱な体力を持たなければならない。それがオリンパスの思想です。



**TTLダイレクト測光** 1975年オリンパスが世界に先がけて製品化。世界中の一眼が追随した機構です。フィルムにまさに写らんとする被写体の明るさをダイレクトに測りながら露出を制御。露光中の急激な光の変化にもリアルタイムにレスポンス。記憶式測光の弱点を克服した画期的な測光方式です。測光分布は中央重点平均測光で、ほとんどの撮影条件で適正露出を得ることができます。機動性を重視した撮影やストロボ撮影で特に威力を発揮します。

50mmレンズ装着時の  
TTLダイレクト測光光路図



3D測面による中央重点平均測光の感度分布図

50mmレンズ装着時の  
スポット測光光路図



3D方式により表現されたスポット測光の感度分布図

**スポット測光** スポットボタンの操作により、OM-4チタンブラックはTTLダイレクト測光から画面の中央部約2%だけを測るスポット測光に切り換わります。これは、ファインダー内のほぼマイクロプリズム部に相当。この繊細な測光方式が、単純な露出補正から撮影者の意志で露出値を演算するテクニカルな撮影まで、プロレベルの光コントロールを可能にしました。操作は、主題にしたい被写体に向けてスポットボタンを押すだけ。これだけで測光部分の適正露出がインプットされます。同様の操作で最大8ヵ所までスポット入力可能。入力されたデータは次々とAEロックされ、露出値はその値の加重平均で算出されます。あふれる光を自由に選び、自在に操る愉しさ。このスポット測光は、シャッターリリースで自動解除され、TTLダイレクト測光に戻ります。

**ハイライト&シャドウボタン** 画面全体が白っぽい被写体や黒っぽい被写体を撮影すると、従来の平均測光ではいずれもグレー調に写し込まれてしまいます。これは露出制御の基準が被写体の中間濃度(=約18%の灰色の反射率)に仕上がるように設定されているため、白は露出アンダーに、黒は逆にオーバーに定着されてしまうからです。これを自動補正するのがハイライト&シャドウボタン。画面の最も明るい部分、または暗い部分をスポット入力し、その後いずれかのボタンを押せば、白を白く、黒を黒く再現するための適正露出値をコンピュータが自動的に演算。雪や陶器など白いものはまっ白く、皮や繊維など黒いものは深い黒に、その質感までもリアルに描写してくれます。

**メモリー** 実際に撮影した露出レベルをカメラが文字どおり記憶する機構です。メモリーレバーの操作によりメモリー予約状態にした後に、シャッターリリース。これでその時の露出はインプットされ、同じ露出レベルで何枚もシャッターを切ることが可能です。ファッション写真やパノラマ写真で100%威力を発揮します。また、メモリー後、露出レベルを変えずに絞りやシャッター速度を自由にセレクトできるので、被写界深度を連続的に変化させるといった演出も容易です。メモリーはクリアレバーの操作により解除されます。



TTLダイレクト測光



マルチスポット測光



マニュアル撮影(平均測光)



マニュアル撮影(1点スポット測光)



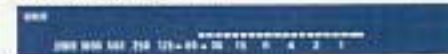
マニュアル撮影(マルチスポット測光)



ストロボ撮影(充電完了時点灯、適正露出時点滅)



ストロボ撮影(露出オーバー)



ストロボ撮影(露出アンダー)



**ファインダーディスプレイ** 撮影のための情報は、このディスプレイに凝縮。高度な映像表現は、より軽快な操作性を獲得しました。撮影者はファインダーから目を離すことなく、多岐にわたるデータを集中管理することができます。

**防滴シーリング** OM-4チタンブラックは、あらゆる苛酷な条件に耐えるように設計されています。ボディに13ヵ所も施された防滴シーリングもそのひとつ。雨や水しぶき、そして温度変化による結露から内部を徹底的にガード。



**スポットボタン** ボタンを押す1回時にTTLダイレクト測光からスポット測光に、可換±1点目の測光・AEロックのすべてが1度のボタン操作で完了。ファインダー内表示、電子音で確認が可能です。



**ハイライトボタン/シャドーボタン** スポット測光後、ハイライトボタンを押すと白は自然な白に、またシャドーボタンを押すと黒は自然な黒に、目で見たまゝの色で再現されるように露出制御が行われます。



**シャッターレリーズボタン** 確実にレリーズの瞬間を伝える設計です。第1ストロークでファインダー内表示が開始。レリーズと同時に電子回路が作動。120秒後自動的にオフになるリセット内蔵です。



**メモリー/クリアレバー** メモリー側にするとメモリー予約状態になり、レリーズで実際に撮影された露出が記憶されます。クリア側ではスポット測光、メモリーが解除、TTLダイレクト測光に戻ります。



**露出補正ダイヤル** 補正範囲は写ステップ刻みの±各2EV。ファインダー内には「+」表示が点滅します。ISO感度目盛り ISO感度6-3200のワイドレンジフィルムの増感減感撮影のときにも活用できます。



**モード切換えレバー** オートとマニュアルの撮影モードを選択するレバー。切換えてファインダー表示も変化。バッテリーチェック LED点灯とPCV音によって、バッテリーの残量の状態を3段階に表示します。



**マニュアルシャッターダイヤル** マニュアル撮影時、1-1/2000秒までのシャッター速度を設定することが可能です。また、メカニカルシャッターのバルブ・1/60を装備。ロックボタンを押してセットします。



**視度調節ノブ** 撮影者に最適なファインダー内の視度を導くことが可能です。視度調節範囲は+1.0~-3.0ディ옵ター。ノブを引っ張り回転させて調節します。押し込めば補正箇所でロックされます。



**採光窓/ファインダー内照明ボタン** ファインダー内LCD表示のための採光窓です。夜間撮影時など表示が見づらいときは、照明ボタンを押せば照明されます。10秒間点灯、またはレリーズにより消灯します。



OM-4チタンブラックの頭脳中核は、CMOS4ビットマイクロCPUを採用。ROM容量約96ビット・RAM容量256×4ビットシリアルインターフェース・タイマー/イベントカウンターを1チップに集積。膨大な情報を超高速精度で演算処理します。スポット測光とTTLダイレクト測光は複合タイプのSBC(シリコンブルーセル)で構成。EV運動方式の記憶RAMによるメモリー機能。CPUに選ばれた記憶エリア8個のAEロックRAMによるAEロックなご撮影者のイメージを確実に数値化する独自のプロセスを採用しています。また、ソフトの効率化・高速処理に対応するために、バイト単位でのデータ転送を実現。さらに、時分割の制御により必要最小限のブロックに通电。低消費電力を徹底しました。



# MULTI SPOT/FULL-SYNCHRO



## オリンパスOM-4チタンブラックのおもな仕様

形式	TTL自動露出式35mm一眼レフカメラ
画面サイズ	24×36mm
レンズ交換	オリンパスOMマウント
シャッター	電磁制御式横走り巻きフォーカルプレーンシャッター 最高速シャッタースピード 1/2000秒 メカニカルシャッタースピード 1/60秒・バルブ
測光方式	形式/中央重点平均測光、スポット測光切り換え式 スポット測光はマルチスポット方式、ハイライト基準方式、 シャドウ基準方式演算可能
平均測光自動露出制御	形式/TTLダイレクト測光絞リ優先電子シャッター 測光範囲/約-5EV~19EV 露出制御/約1分~1/2000秒(ISO100, 50mm F1.4常温常温時) 露出補正/±2EV
スポット測光自動露出制御	形式/TTL記憶式(AEロック) 測光範囲/0EV~19EV 露出制御/約4分~1/2000秒(ISO100, 50mm F1.4常温常温時) 露出補正/±2EV
自動露出記憶制御(メモリー制御)	形式/露出値記憶方式、記憶リミッター60分
マニュアル露出制御	B・1秒~1/2000秒 (Xシンクロ1/60秒以下の低速において同調)
ストロボ露出制御	○スーパーFP発光(フルシンクロフラッシュ使用時)/スーパーFP接点(シャッタースピードの全速で同調) TTLオート制御:1/60~1/2000秒で同調 マニュアル: B・1~1/2000秒で同調 ○閃光発光(Tシリーズ・フルシンクロフラッシュ使用時)/X接点 TTLオート制御:1/60秒以下の低速時に同調 マニュアル制御:1/60秒以下の低速時に同調

ストロボとの電気接続	ホットシュー(X接点・スーパーFP接点の端子付) Tシリーズ専用5ピンコネクター シンクロソケット(JIS型)
フィルム感度	ISO6~3200
フィルム巻き上げ	レバー式、巻き上げ角130°、予備角30° 小刻み巻き上げ可能 モータードライブ、ワインダー使用可能
フィルム巻き戻し	クラック式(「モータードライブ2」によるモーター巻き戻し可能) 視度調節式ファインダー 視度調節範囲 +1.0~-3.0ディオプリー スクリーン交換式、標準タイプはマイクロソフト型 視野率/タテ、ヨコ97% 倍率/視度-0.5ディオプリーの時50mmレンズ付きにおいて 0.84倍
ファインダー	LCDによる多モード表示、表示リミッター2分 照明内蔵 10秒間のリミッター付
ファインダー表示	電子セルフタイマー 12秒
セルフタイマー	LEDおよび音による3レベル表示 電池消費時作動ロック
バッテリーチェック	JIS SR44形銀電池又はJIS LR44形アルカリ電池2個使用
電源	交換式(メモホルダー付)
裏蓋	レコーダータック、250フィルムバック取付可能
大きさ	136×84×50mm(ボディのみ)
重量	510g(ボディのみ)
メーカー希望小売価格(税別)	ボディ ¥129,000 50mm F1.4レンズ付 ¥156,500 ハードケース ¥6,000/カメラグリップ1 ¥1,200

## ●オリンパスフォトブラザ(OPP) 営業時間10:00~18:00(日曜・祝祭日定休)

ショールーム	〒160 東京都新宿区新宿5-17-9 新宿野村證券ビル ☎
ギャラリー	〒160 東京都新宿区新宿5-17-9 新宿野村證券ビル ☎
サービスステーション	〒160 東京都新宿区新宿5-17-9 新宿野村證券ビル ☎
インフォメーションセンター	〒160 東京都新宿区新宿5-17-9 新宿野村證券ビル ☎

オリンパスフォトブラザでは写真観覧時間、OMシステムの展示をしております。お気軽にお立ち寄り下さい。

## ●オリンパスカメラクラブのご案内

全員の特典:月刊誌「オリンパスフォトグラフィー」を送呈。写真コンテストにご応募できます。また撮影会、写真教室などのご案内をはじめ、写真に関する情報が得られます。さらに全員向けの特別販売品の頒布など多くの特典があります。入会金800円、会費1年間4,200円。  
お申込み・お問い合わせはカメラクラブ事務局へ。  
〒160 東京都新宿区新宿5-17-9 新宿野村證券ビル ☎

## ●オリンパスサービスステーション 営業時間9:00~17:30土・日・祭日定休

東京	160・東京都新宿区新宿5-17-9 新宿野村證券ビル フォトブラザ ☎
	101・東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル6F ☎
	163-91・東京都新宿区西新宿1-22-2 新宿サンエービル7F ☎
大阪	542・大阪市中央区南船場2-12-25 オリジンビル大阪センター ☎
名古屋	460・名古屋市中区錦2-15-25 日本生命広小路ビル ☎
札幌	060・札幌市中央区北3条西4丁目 日本生命ビル ☎
仙台	980・仙台市青葉区一番町1-3-1 日本生命仙台ビル ☎
新潟	950・新潟市東大通り1-2-23 北楼ビル ☎
大宮	331・大宮市本町1-44-1 ソニックビル ☎
横浜	220・横浜市西区北幸1-7-2 横浜駅前ビル ☎
松本	390・松本市深志1-2-11 松本昭和ビル ☎
金沢	920・金沢市香林街1-2-24 千代田生命金沢ビル ☎
静岡	420・静岡市金手町1-6 日本生命静岡ビル ☎
京都	604・京都市中京区烏丸九条下ル虎屋町566-1 リクルート明治生命ビル ☎
岡山	700・岡山市下石井1-1-3 日本生命岡山第2ビル ☎
広島	730・広島市中区八丁堀16-11 日本生命第2ビル ☎
高松	760・高松市天神前10-5 高松セントラルスカイビル ☎
福岡	810・福岡市中央区天神1-14-1 日本生命ビル ☎
鹿児島	332・鹿児島市加治屋町12-7 日本生命ビル ☎
沖縄	902・那覇市松川2014-1 泉ビル2F ☎

オリンパスサービスステーションでは実際にカメラを手にとって確かめられるようカメラを展示しております。お気軽に窓口へお立ち寄りください。

## ●オリンパスカメラのご用命は



このカタログは93年4月現在のものです。外観・仕様・価格については、予告なしに変更する場合があります。  
このカタログに記載された「メーカー希望小売価格」は、消費税別3%の価格であり、購入される際には、別に消費税額が加算されます。